

生物物理若手の会中部支部主催

# 夏の生物物理セミナー

8/3(Sat) 14:00-17:00

名古屋大学 理学部E館131教室

第一部

14:10 ~ 15:25

## ヒトとメダカの心理物理

渡辺英治 先生 基礎生物学研究所 神経生理学研究室 准教授

僕たちの研究室では、電子計算機を用いてヒトやメダカの視覚心理物理学を進めています。計算機モデルによって自在に作り出される視覚刺激への動物たちの多種多様な反応を解析することで、視覚情報処理の仮説的なアルゴリズムを検証していきます。今回の講演では、ヒトにおいては錯視研究から類推される空間と時間の認知メカニズムについて、メダカにおいては視覚に基づく捕食行動や社会性行動を中心にお話します。

第二部

15:40 ~ 16:55

## 細胞力覚への道

私はいかにして生物物理学者になったのか

曾我部正博 先生 名古屋大学大学院医学系研究科 特任教授  
シンガポール国立大学理学部生命科学科 客員教授

私は37歳から27年間にわたって、“細胞力覚（細胞が力を感じて応答する機能）”の研究をしてきました。それまでの15年間はイオンチャネルの生物物理学でした。しかし本来は脳（こころ）の生物工学を目指して研究道に入ったのです。本講演では、なぜこうなってしまったのかの個人史も交えて、細胞力覚を中心に、その原子レベルの仕組みから、重力感知や発がんとの関わりも含めた最新情報を紹介します。

参加申し込み不要。どなたでもご自由に聴講していただけます。

セミナー後、先生を囲んで大学近辺にて懇親会を行います。  
懇親会参加希望の方は、下記連絡先までお願い致します。

生物物理若手の会中部支部長・名古屋大学理学研究科博士後期1年  
田中康太郎 (tanaka.kotaro@b.mbox.nagoya-u.ac.jp)